

日曹カントスドライフロアブル

CANTUS

登録番号 第21469号
 種類名 ボスカリド水和剤
 boscalid
 殺菌剤分類 7
 性状 褐色水和性微粒
 有効年限 5年

有効成分 ボスカリド 50.0%

毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包装 (100g×10袋)×6箱、667g×20袋(地域限定)、1kg×10袋(地域限定)

■特長

1. 灰色かび病、菌核病の両病害に顕著な効果を発揮します。
2. 既存の薬剤に耐性を示す菌にも有効です。
3. 有効成分がスムーズに葉内に入り葉先・葉縁に移行するため散布ムラによる感染を防止します。
4. 有効成分が葉内に浸達するため残効性や耐雨性に優れた薬剤です。
5. 胞子発芽阻害に優れ、発病前～発病初期の予防散布が効果的です。
6. 有用昆虫に対する影響が少ない薬剤です。



最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用病害名及び使用方法

(2024年6月3日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	ボスカリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
かんきつ	灰色かび病	1,500	200～700	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	散布
大粒種ぶどう	すす点病			収穫7日前まで			
いちご	灰色かび病	1,000～1,500	100～300	収穫前日まで	2回以内	2回以内	
ピーマン	灰色かび病						
とうがらし類	黒枯病						
トマト	葉かび病						
ミニトマト	灰色かび病						
なす	菌核病						
	すすかび病						
きゅうり	灰色かび病	1,500	100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
	菌核病						
	褐斑病						
メロン	菌核病	1,000～1,500	100～300	収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
すいか							
にんじん	黒葉枯病 斑点病						
レタス				収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
非結球レタス	灰色かび病 菌核病		収穫14日前まで				
くきちしゃ		1,500	100～300	収穫7日前まで	1回	1回	
エンダイブ					2回以内	2回以内	
トレビス	菌核病						
キャベツ	株腐病、黒斑病						
たまねぎ	灰色かび病	1,000～1,500	100～300	収穫前日まで	3回以内	4回以内 (定植前は1回以内、定植後は3回以内)	
	灰色腐敗病						
	小菌核病	1,500					

殺菌剤 日曹カンタスドライフロアブル

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	ボスカリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
豆類(種実) (ただし、らっかせい、あずき、いんげんまめを除く)	菌核病	1,500	100～300	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	散布
あずき	さび病	1,000～1,500		収穫21日前まで	2回以内	2回以内	
いんげんまめ	灰色かび病 菌核病						
さやいんげん	赤色斑点病 さび病	1,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
未成熟そらまめ							
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病	1,500		収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
ブロッコリー	菌核病				1回	1回	
なばな類							
食用ぎく	灰色かび病	1,500		収穫3日前まで	2回以内	2回以内	
ブントレツラ							
らっきょう					3回以内	3回以内	
小麦	眼紋病 うどんこ病	60～150		収穫45日前まで	2回以内	2回以内	

△ 効果・薬害などの注意

1. 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
2. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
3. きゅうりに使用する場合、高温条件や散布後急激に乾燥すると葉焼けや日焼け果の発生を助長するおそれがあるので注意してください。
4. 果菜類、ぶどうに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤や葉面液肥を加用すると、薬害が生じるおそれがあるのでさけてください。
5. みずかけな(水掛菜)に使用の場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用后14日間は入水しないでください。
6. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
7. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意 

8. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
9. 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
10. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。